

JFA サッカーファミリータウンミーティング 報告書



日 時 2017年4月22日(土)

場 所 タウンミーティング あづま総合運動公園体育館 研修室
応援会議 ホテル辰巳屋 8F 瑠璃の間

JFA サッカーファミリータウンミーティング

- 01 開会挨拶 一般財団法人福島県サッカー協会 会長 小池 征
- 02 日本サッカーの発展に向けて 公益財団法人日本サッカー協会 会長 田嶋 幸三
- ◇オープニング（映像）
 - ◇JFAの存在意義
 - ◇47FAの自立
 - ↳ JFAは岸記念体育館の一室からスタートし、今や職員 200 名、200 億の収益。各FAはボランティアに支えられている。
 - 47FAのコンテンツは魅力あるものであることを認識すべきである。
 - ◇魅力ある代表
 - ↳ A代表 world cup 5大会連続出場。フットサル・ビーチサッカー代表は世界に一番近い。
 - 女子サッカーは全体 100 万人登録の内、5 万人登録が現状。
 - 代表とJリーグは強化の両輪。ドイツをスタンダードにしたい。
 - Jクラブアカデミーに 5 億円の投資。
 - ◇育成日本復活
 - ↳ U20、U17world cup から 10 年間遠ざかった。
 - “私たちはサッカーに投資します。私たちは世界基準で戦います。”
 - “闘う日本でありたい。” → 球際の強さ・闘い、デュエル（key word）
 - “私たちはフェアで戦います。”
 - 育英の充実 → トレセン認定制度
 - ◇指導者養成
 - ↳ 指導者の底上げ、グラスルーツコーチの増加
 - 女性指導者によるエリートレベルを強化
 - 技術担当者の専任化（47FA サッカーを軸にした自立）
 - ◇審判養成
 - ↳ トップレフェリーの世界レベルの維持、ユース審判員育成の推進
 - ◇“グラスルーツなくして代表の強化なし” → Football for ALL!
 - “すべてのサッカーに対して、JFAは責任がある。”
 - ↳ JFAの改革（検証、ガバナンス、コンプライアンス）
 - 継続プロジェクト（社会貢献活動、JFAナショナル・47FAフットボールセンター整備）
 - サッカーを文化に！（リスペクトプロジェクト、アジアへの見直し、世界への日本サッカーの発信）

「かつてないほど急速に変化する現代社会において、過去の成功は未来を約束するものではない。確固たる 100 年の歴史を踏まえ、現在直面している課題に加え予測される課題に対して今すぐ取り組まなければならない」

国際オリンピック委員会のトーマス・バッハ会長

03 質疑応答・意見交換

◇佐藤氏（会津地区 4 種）

- ①World cup の自国開催 … FIFA は複数国開催の意向。2050 年までに開催したい。
- ②福島 FA の育成年代の評価と課題 … JFA アカデミー福島を復活して育成のスタンダードとしたい。

③複数チームの出場と D 級の適用の Gap

↳ 全少のレギュレーションで D 級指導者がマストになっている。チームやスタッフの事情で帯同できないケースがある。やむを得ない事情であれば、47FA レベルで柔軟な対応をお願いしたい。

ただし、JFA の基本としては D 級講習会は 7 h レベルの拘束時間講習なので是非取得してほしい。

④会津地区のサッカー環境の整備 … 豪雪地帯なので人工芝ピッチの整備を要望します。

◇大木氏（郡山市シニア）

①お礼 … 今回のような機会をいただき、日本カーサッカー協会の取り組みや今後の方向性、更に田嶋会長の人生哲学を聴くことができたことに感謝したい。ありがとうございました。

② J ヴィレッジの復活 … 全少全国大会の開催（現在鹿児島県開催）をお願いしたい。

↳ 年間リーグの導入と全少のレギュレーションの変更により、夏から冬開催となっている。

↳ 夏季開催のクラブユースやシニアレベルの大会開催を検討したい。

↳ 2019 年オリンピック代表の拠点と考えている。

◇安齋氏（県北地区）

①組織の活性化 … ボランティア世代が高齢化している。→ ボランティア指導者の活性化

②子どもたちのサッカーを見ていると、自動化して型にはまった感があり、感動しなくなってきている。

↳ ボールを止める・蹴るという基本は徹底してボールのストレスを回避しなければならない。世界のトップレベルをその部分は同じである。ただし、判断を伴うオーガナイズが望ましい。その基本の上に個性があるとする。

③指導者・審判員の質の低下

◇池田氏（フットサル担当）

①震災後、セントラル方式によるフットサル全国大会の開催をお願いしたい。（宮城 FA、岩手 FA では開催）

↳ フットサル連盟に確認して、結果を連絡します。

◇青田氏（女子担当）

①女子の 4 種登録によって、女子サッカー人口やクラブチームが減少している。福島県では震災の影響で更に少ない。東北全体でも女子単独でのチームがなくなってきている。地域性を考慮できないか？

↳ 全国的には登録は減っていないが、チームは少なくなっている。全国 4 種委員長会議で検討する予定がある。

◇木田氏（いわき市スポーツ振興課）

① JFA の取り組みは素晴らしい … 新舞子ハイグランドの整備、J ヴィレッジのキッズ巡回指導等

② トップスポーツキャンプ誘致事業 … いわき市の予算 100 万の事業を活用して代表等のキャンプは可能か？

H28 年度は桜セブンチームがキャンプを行った。

↳ H29 年度はすでに代表スケジュールは決定しているので、今後検討したい。

◇青田氏（相双地区シニア）

①相馬光陽サッカー場の整備に対して感謝したい。… 年間 6 万人の利用者があり、相双地区や以北の拠点となっている。

◇山崎君（福島ユナイテッド FC U12）

①上手になるためのトレーニングを教えてください。

↳ 目標となる選手は？ → マスクレーノ選手です → プレーを観て真似ること（模倣から始まる）

↳ チームやトレセンでライバルを作ること

04 クロージング（映像）